

興風談所出版書籍案内

令和三年十二月在庫分

◎『日興上人全集』 A5判・上製本・全六一四頁 七〇〇〇円

本書は平成八年三月、日興上人生誕七五〇年を記念して、上人の述作・消息・記録等を御筆写真の図版とともに収録、刊行したものである。本文頭注欄において難解な語句や地名・人名等に解説を付し、末尾には索引を載せている。

◎『興風叢書』 ※〔1〕～〔5〕〔9〕〔12〕〔13〕は在庫がありません。

- 興風叢書〔6〕『御書目録日記事(影印篇・翻刻篇)』 二二〇〇円
- 興風叢書〔7〕『千葉妙本寺十四世日我撰 一流相伝大事私』 二二〇〇円
- 興風叢書〔8〕『能持院日過筆・境持院日通筆 過去帳・日蓮門下系図』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔10〕『中山門流 等覚院日全撰 法華問答正義抄 三』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔11〕『中山門流 等覚院日全撰 法華問答正義抄 二』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔14〕『中山門流 等覚院日全撰 法華問答正義抄 五』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔15〕『五大院安然仮託 要決法華知謗法論・助顕法華略記集』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔16〕『及川宗秀撰 問答用意抄・日光天海蔵 諸宗問答破立要文集』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔17〕『恵檀両流秘決(両流念)・一心三觀本文・一心三觀血脈他』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔18〕『千葉妙本寺蔵 行忍抄・秘蔵要文他』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔19〕『身延文庫蔵 藻原日海撰 三種教相見聞』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔20〕『千葉妙本寺十一世日要撰 法華経迹門分・本門分他』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔21〕『身延久遠寺七世日叡撰 立法華肝要集他』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔22〕『身延文庫蔵 政海撰 一乗論談抄 一』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔23〕『身延文庫蔵 政海撰 一乗論談抄 二』 三〇〇〇円
- 興風叢書〔24〕『身延文庫蔵 政海撰 一乗論談抄 三』 三〇〇〇円

◎『興風』 ※一号〜十三号、十八号〜二十一号、二十四号は在庫がありません。

- 興風〔十四号〕 三〇〇〇円
 - 日興写本『一代五時鷄図』をめぐって……………坂井 法暉
 - 古活字版録内御書についての覚書……………池田 令道
 - 日蓮大聖人の折伏観……………山上 弘道
 - 保田妙本寺所蔵の「日蓮遺文等抄録」について……………菅原 関道
 - 日興門流における本因妙思想形成に関する覚書(一)……………大黒 喜道
 - 録内御書の編纂と成立について……………池田 令道
- 興風〔十五号〕 三〇〇〇円
 - 日興門流における本因妙思想形成に関する覚書(二)……………大黒 喜道
 - 日蓮大聖人の思想(五)……………山上 弘道
 - 重須本門寺所蔵の『頼基陳状』両写本について……………菅原 関道
 - 南条一族おぼえ書き(上)……………坂井 法暉
 - ―新出史料紹介―日重本録内御書に関する一考察……………池田 令道
- 興風〔二十二号〕 三〇〇〇円
 - 富士山をめぐる中世の信仰……………西岡 芳文
 - 安房妙本寺学頭坊歴代考 ―日朝から日成まで―……………佐藤 博信
 - 『強仁状御返事』について……………山上 弘道
 - ―『延山録外』所収『強仁状御返事』草案から得られる新知見を中心に……………山上 弘道
 - 五五百歳四菩薩再誕賢王出現と順縁広布の位置づけ……………山上 弘道

今成元昭氏の「日蓮ニ撰受」説を批判する……………山上 弘道
日蓮教団の宗号とその実態——「江戸新仏教」論への疑義条々……………坂井 法暉
日興門流における本因妙思想形成に関する覚書（六）……………大黒 喜道
——「曾谷入道殿許御書」のこと……………菅原 関道
『立正安国論』広本の一考察……………池田 令道
続『立正観抄』の真偽問題について……………池田 令道
——花野充道氏の批判に答えて……………

興風〔二十三号〕興風談所設立三十周年記念特集 三五〇〇円

中世における法華経持経者の系譜……………菊地 大樹
安房妙本寺門流の展開と日向……………佐藤 博信
——特に細島妙谷寺・本要寺をめぐって……………石附 敏幸
新出東大寺文書『大和国清澄庄焼亡之記』について……………辛島 美絵
仮名文書の資料性——奉書をめぐって（序）……………細川 重男
御内人のこと……………藤平 寛田
中古天台における境智冥合の諸形態……………渡辺 麻里子
身延文庫蔵『本朝大師先徳明匠』と談義書の生成……………荒榎 純隆
『天台宗秘決要集』に引かれる観音本願の偈文について……………坂井 法暉
身延文庫蔵『問答用意抄』の基礎的考察……………菅原 関道
「強仁状」の教学的考察……………大谷 吾道
千葉妙本寺蔵「弘通要文集」に関する考察……………大黒 喜道
日興門流における本因妙思想形成に関する覚書（七）……………池田 令道
——宗祖の本因妙下種思想について……………池田 令道
『立正観抄』の真偽問題について（三）……………池田 令道
——再び花野充道氏の批判に答える……………池田 令道
大石寺蔵『御伝土代』の作者について（補遺）……………山上 弘道
四條金吾領地回復を伝える諸遺文の系年再考……………山上 弘道

興風〔二十六号〕三〇〇〇円

諸門流先師の曼荼羅本尊について……………寺尾 英智
安房妙本寺門流にみる上人権の実態……………佐藤 博信
——特に曼荼羅本尊・上人号・日文字などをめぐって……………石附 敏幸
日蓮遺文と承久の乱——「還著於本人」思想の考察を中心に……………山上 弘道
『曾谷殿御返事』（焼米抄）と『本尊問答抄』の法義的位置づけ……………山上 弘道
間宮啓壬氏の論攷……………山上 弘道
「再度、日蓮の地涌・上行自覚を論ず——山上氏の批判をうけて——」への感想……………大黒 喜道
「開目抄」に説かれる三世の成仏道について……………池田 令道
——竜口法難から佐渡流罪期にかけての重層的な構造の中で考える……………坂井 法暉
身延文庫蔵『録外御書』に関する考察……………坂井 法暉
日興の生涯と思想（一）……………坂井 法暉
大石寺東坊地相論と宗史雑感——榎木境道氏の批判を読んで……………本間 俊文

興風〔二十七号〕三〇〇〇円

日興自筆文書の再確認……………本間 俊文
北山本門寺の近世的展開とその特徴……………佐藤 博信
——日興墳墓と檀那井出氏に注目して……………古川 元也
天文法華の乱の再検討……………石附 敏幸
日蓮と中世寺院社会——『実相寺衆徒愁状』の考察を中心に……………山上 弘道
身延曾存御書……………山上 弘道
『十住毘婆娑論尋出御書』『武蔵公御房御消息』について……………山上 弘道
長倉論文「初期日蓮教団をめぐる富士山信仰の諸問題」への批判……………山上 弘道

宗祖の教学大系における三大秘法の位置づけについて……………大黒 喜道
日興の生涯と思想(二)―生地と俗姓に関する覚え書き……………坂井 法暉
本圀寺蔵日興本『善無畏抄』の考察……………池田 令道
日興本『善無畏抄』紙背文書・読み取り現し作業レポート……………岡村 洋
日蓮の戒壇論の論理構造とその継承……………菅原 関道
《史料紹介》『不受不施諸師書状等』一巻について……………渡邊 信朝

興風〔二十八号〕 三〇〇〇頁

《講義録》

中世の題目石塔について―考古学的研究視点から……………本間 岳人

駿河興津氏と大石寺東坊地相論に関する一考察……………佐藤 博信

―安房妙本寺研究の視点から―……………

『體源鈔』にみる地下樂人豊原統秋の法華信仰……………石附 敏幸

法華宗陣門流総本山本成寺所蔵の宗祖真蹟について……………山上 弘道

開目抄・本尊抄と曼荼羅本尊……………

―宗祖の竜口から佐渡前期にかけての教学的な実相解明へ向けて―……………大黒 喜道

日興の生涯と思想(三)―日興の母方に関するノート……………坂井 法暉

日蓮の名字即成仏論の探求……………菅原 関道

続・身延文庫蔵『録外御書』に関する考察―前稿の補遺並びに訂正……………池田 令道

日興門流の上行菩薩観について……………池田 令道

《史料紹介》身延文庫蔵『日進聖人仰之趣』……………山上 弘道

西山本門寺蔵「波木井文書」……………坂井 法暉

興風〔二十九号〕 三〇〇〇頁

天文法華の乱後、法華宗京都遷住に関する考察……………河内 将芳

―近江六角氏との関係を中心に―……………

中世古文書料紙の研究と保存について……………高島 晶彦

安房妙本寺日郷・日伝の歴史的位置……………佐藤 博信

―特に日郷置文・日伝議状を通じて―……………

番神問答に関する覚書……………石附 敏幸

宗祖書状花押の研究……………山上 弘道

『念仏無間地獄鈔』の真偽について……………山上 弘道

―森新之介氏の「真偽未決説」批判―……………

理事の一念三千と妙法五字の関係……………大黒 喜道

―法体二重説・法体三重説に触発されて―……………

千葉妙本寺蔵『教観樹扇録』の紹介及び検討……………池田 令道

翻刻『教観樹扇録』……………

日蓮真蹟『大乘止観法門要文断簡』の考察(上)……………菅原 関道

―『大乘止観法門』の検討から本断簡の意義を考える―……………

日興の生涯と思想(四)―これまでのまとめと補遺……………坂井 法暉

―「妙本寺縁起」に関する考察……………

―蛇形本尊「臨滅度時本尊」の由来とその伝承……………渡邊 信朝

興風〔三十号〕 記念論文集 四〇〇〇頁

藻原日海『初心行者位見聞』について……………都守 基一

明治初期〜大正期における日蓮門下統合運動の展開と挫折……………大谷 栄一

駿河小泉久遠寺末寺の成立と展開……………佐藤 博信

―円蔵寺・本隆寺(長遠寺)・妙円寺の場合―……………

慶林坊日隆教学の確立……………大平 宏龍

―法体二重説から法体三重説へ―……………

宗祖ご一代における妙法五字の内容的な変容について……………大黒 喜道

白蓮阿闍梨日興『雑々要文』(北山本門寺所蔵)……………本間 俊文

日蓮『念仏者追放宣状事』と鎌倉時代の専修念仏……………菊地 大樹

- 中世妙顕寺の寺地と立地……………河内 将芳
- 日興の生涯と思想(五)―日時作『御伝土代』おぼえがき……………坂井 法暉
- 絵図から読み解く中世の鎌倉極楽寺……………西岡 芳文
- 日蓮の名字即成仏論の探究(二)
―名字即と十乘観法……………菅原 関道
- 日蓮宗資料にみる中世禅籍『見性成仏義』について……………古瀬 珠水
―付録、称名寺蔵『見性成仏論』訓読文……………山上 弘道
- 『迦葉付属事』について……………渡辺 麻里子
- 恵心流学僧直兼とその著作『宗要直兼集』について……………石附 敏幸
- 日蓮と宗義天奏……………古川 攝一
- 日蓮の肖像画―「水鏡御影」と「生御影」をめぐって……………渡邊 信朝
- 南条阿闍梨日諦の写本にみえる不受不施資料……………池田 令道
―身池対論以降の富士門流の対応……………森 新之介
- 府中定光寺二代実海に関する考察……………池田 令道
―二人の天台僧・実海をめぐって……………池田 令道
- 「念仏無間地獄鈔」と日蓮遺文……………森 新之介
―山上弘道の批判に答う……………池田 令道
- 追悼 川添昭二先生と興風談所……………池田 令道
- 追悼 大黒喜道尊師……………池田 令道
- 興風談所刊行の学術誌並びに書籍等目録 付御書システム・コラム目録
- 興風〔三十一号〕 三〇〇〇頁
- 近衛家に見る戦国期京都の法華宗信仰……………長崎 健吾
- 日向定善寺住職歴代考……………佐藤 博信
―特に日妙||日学・日揚・日現・日定をめぐって……………山上 弘道
- 薩摩日叡撰『本迹問答十七條』について……………山上 弘道
- 凶版・翻刻 千葉県保田妙本寺蔵『本迹問答十七條』……………渡邊 信朝
- 大石寺蔵「精師・舜師矛盾書付」について……………渡邊 信朝
- 凶版・翻刻「精師・舜師矛盾書付」……………渡邊 信朝
- 日諦写『就受不受富士身延往復之状進返六通』について(補遺)……………渡邊 信朝
―日蓮の名字即説との接点を求めて……………菅原 関道
- 日興の生涯と思想(六)
―「冷泉中将に謁して歌道を極め給う」まで……………坂井 法暉
- 日蓮の浄土教批判の再検討……………石附 敏幸
- 身延文庫蔵『祖書見聞 報恩抄・開目抄・撰時抄』の考察……………池田 令道
―その撰者と内容の特色について……………池田 令道
- 凶版・翻刻 身延文庫蔵『祖書見聞 報恩抄・開目抄・撰時抄』……………池田 令道
- 興風〔三十二号〕 三〇〇〇頁
- 鎌倉時代の仏教革新について……………平 雅行
- 駿河下条妙蓮寺の歴史的展開―「富士五ヶ寺」への道程……………佐藤 博信
- 『曾谷入道殿許御書』「娑婆世界衆生最初下種菩薩也」考……………菅原 関道
- 円明日澄の著述を初出とする偽撰遺文について……………山上 弘道
―『法華啓運抄』を中心として……………山上 弘道
- 日興の生涯と思想(七)―日興と和歌に関するノート……………坂井 法暉
- 安然仮託『助顕法華略記集』に関する覚書……………渡邊 信朝
- 身延文庫蔵二位日進筆『破邪立正論』の紹介並びに考察……………池田 令道
- 翻刻 身延文庫蔵『破邪立正論 上』……………池田 令道